



令和5年度 九州クルーズ振興協議会総会



「にっぽん丸」(商船三井客船株式会社)



「飛鳥Ⅱ」(郵船クルーズ株式会社)

日時：令和5年7月25日(火) 13時30分～14時10分
場所：九州運輸局 海技試験場(福岡合同庁舎 新館7階)



九州クルーズ振興協議会

議題（１）令和４年度 事業報告

1. クルーズ船の九州各港への寄港状況（R4.1～R4.12）

令和４年の九州（下関を含む）へのクルーズ船の寄港回数は、**73回**（外国船社**0回**、日本船社**73回**）となった。

新型コロナウイルスの感染拡大による水際対策で中断していたクルーズ船の寄港が、令和２年10月以降は、日本船社の国内クルーズで再開され、前年同期比約**3.47倍**の寄港があった。外国船社のクルーズ船は、令和４年10月に水際対策が緩和され同年11月にクルーズ関係団体よりガイドラインが公表されたものの令和４年の寄港は無かった。

管内クルーズ船寄港回数

（単位：回）

| 地 域 | | 福岡県 | | 佐賀県 | 長崎県 | | 熊本県 | 大分県 | 宮崎県 | 鹿児島県 | 山口県 | 合 計 |
|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|
| | | 北九州港 | 博多港 | | 長崎港 | その他 | | | | | 下関港 | |
| 令和４年 | 日本船社 | 12 | 2 | 0 | 0 | 10 | 4 | 6 | 7 | 31 | 1 | 73 |
| | 外国船社 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合 計 | 12 | 2 | 0 | 0 | 10 | 4 | 6 | 7 | 31 | 1 | 73 |
| 令和３年 | 日本船社 | 4 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 4 | 6 | 3 | 0 | 21 |
| | 外国船社 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合 計 | 4 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 4 | 6 | 3 | 0 | 21 |
| 令和２年 | 日本船社 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 4 | 4 | 0 | 13 |
| | 外国船社 | 0 | 14 | 0 | 9 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 29 |
| | 合 計 | 1 | 14 | 0 | 10 | 4 | 0 | 2 | 4 | 7 | 0 | 42 |

（情報提供：九州地方整備局）

2. 総会及びセミナーの開催

(1) 「総会」の開催

日 時：令和4年7月28日（木）

場 所：TKP ガーデンシティ博多新幹線口4-A

議 題

- (1) 令和3年度事業報告について
- (2) 令和3年度収支報告について
- (3) 令和4年度事業計画（案）について
- (4) 令和4年度予算（案）について
- (5) その他（役員改選（案））等
- (6) 情報交換（外航クルーズ再開に向けた現状等報告）
国土交通省海事局外航課、
// 港湾局産業港湾課クルーズ振興室

(2) 「九州クルーズセミナー」の開催

クルーズ振興協議会総会終了後、3名の講師により九州クルーズセミナーを開催した。

- (1) テーマ：「With コロナ時代のクルーズ振興」～情報共有と手軽なクルーズ機会の創出～
講師：大阪大学大学院 国際公共政策研究科長・教授 赤井伸郎 様
- (2) テーマ：「日本船クルーズの現状及び今後について」
講師：商船三井客船株式会社 営業グループ グループリーダー 松本土郎 様
- (3) テーマ：「外国船運航再開に向けた取組について」
講師：日本国際クルーズ協議会(JICC)副会長 糸川雄介 様
(シルバーシークルーズ日本・韓国支社長)

3. クルーズ行事への協賛・後援

クルーズ船の初入港歓迎式典への協賛

① 「ボレアリス」(61,849 総トン) 初入港歓迎式典

日 時：令和5年3月30日

場 所：博多港

概 要：博多港に初入港したフレッド・オルセン・クルーズライン社が運航する「ボレアリス」の式典に海事振興部長が協議会を代表して出席し、記念品を贈呈した。



② 「ノーティカ」(30,277 総トン) 初入港歓迎式典

日 時：令和 5 年 3 月 30 日

場 所：細島港

概 要：細島港に初入港したオーシャニアクルーズ社が運航する「ノーティカ」の式典に宮崎運輸支局長が協議会を代表して出席し、記念品を贈呈した。



(2) 諸会議・イベントへの参加、後援等

① 「しものせきクルーズシンポジウム2023」の後援

下関市の依頼により、ウィズコロナ・アフターコロナでのクルーズの振興、クルーズ産業の再興に繋げることを目的として開催するクルーズシンポジウムを後援(九州運輸局としての後援)

主 催：下関市 共 催：下関港湾協会

後 援：九州地方整備局、九州運輸局、山口県

日 時：令和5年2月17日(金) 13:30~16:00

会 場：下関グランドホテル

概 要：基調講演①コロナ禍を経た最新の国内外のクルーズ動向
基調講演②新しい価値観に基づいたクルーズ客船の受入について
パネルディスカッション

参加者：約89名

② 「しものせきクルーズフェスタ2023」の後援

下関市の依頼により、新型コロナウイルス感染症の船内感染が発生した結果によるクルーズに対するイメージ悪化・誤解等を解くとともに、クルーズの「安全性」「魅力」「楽しさ」「地域への貢献」等を正しく紹介することでクルーズ振興につなげることを目的として開催するクルーズフェスタを後援(九州運輸局としての後援)

主 催：下関市 共 催：下関港湾協会

後 援：九州地方整備局、九州運輸局、山口県、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会、
(一社)ウォーターフロント協会、(一社)日本外航旅客船協会(JOPA)、
日本国際クルーズ協議会(JICC)

日 時：令和5年2月18日(土) 10:00~17:00

会 場：シーモール下関

概 要：クルーズトークショー、クルーズ関連PRブース 他

参加者：クルーズトークショー約200名、クルーズ関連PRブース等 約400名

4. 広報・宣伝活動

(1) 協議会ホームページの更新

- ・九州におけるクルーズ情報の発信や会員相互間の情報共有を促進する有力なツールとして、平成26年2月19日に開設。以後、適宜コンテンツの充実を図っている。
- ・令和4年度についてもクルーズ船の最新のコロナ感染対策等の新着情報を掲載し、情報の発信を行った。

【 <http://www.kyushu-cruise.com/> 】

(2) 宮崎みなとまつり2022への協賛

日時：令和4年11月5日（土）

場所：宮崎港

内容：海事思想の普及を目的に開催された「宮崎みなとまつり2022」で、クルーズ客船の素晴らしさを市民に知って頂くことを主な目的として、クルーズ船のポスターの掲示やクルーズ船に関するパンフレット等を配布した。

5. その他

(1) 会員の動向

- ・令和4年度 入会会員 なし
退会会員 1者

令和5年7月25日現在 会員数 67者
オブザーバー 4者

(2) 参考資料

- ・クルーズ船の九州（下関を含む）への寄港状況